

Reflection

○「Happy Learning」

幸せに学ぶことが、幸せに働き、幸せに暮らすことに繋がるという考え方のもと教育が進められていることに、とても感銘を受けました。訪問先の先生方から「幸せに」というキーワードを何度も聞き、子どもたちへのあたたかい教育の姿勢を感じました。また、ある先生が「誰でも成長できると信じている」とおっしゃっていたことが心に残っていて、子どもの成長を信じて待つ姿勢を見習いたいと思いました。

○王室への敬意・仏教の教え

タイの教育改革に王室が大きな役割を果たしていることを知りました。教室の黒板の上には国王の写真が飾られていたり、校内に像が建てられていたりするなど、人々が王室への敬意を忘れず、大切にしていることが分かりました。

また、多くの人が仏教を深く信仰しており、仏教の教えに基づいて教育がなされていることも印象的でした。そういった背景があるからこそ、学校も家庭も地域も、同じ意識で子どもたちの教育に関わることができるのだと感じました。

○ノンフォーマル教育

日本にはない学校の形に、とても衝撃を受けました。「自分が学びたいから学ぶ」という自分の興味関心に基づいて集まった人々が生き生きと学んでいる姿が印象的でした。いつでも誰でも教育を受けられる機会を確保すると共に、個人の成長が、社会の発展・伝統の継承に繋がっているということに感動しました。

○職業教育

卒業したらすぐに働けるような力を付ける職業教育が確立されており、とても素晴らしいと感じました。また、勉強だけではなく、自分の将来を考えられるようなコンサルティングも早い年齢から行われており、子どもたちが目的意識を持って学校へ通うことができるサポートがなされていると感じました。

○文化交流

いくつかの文化交流を通してタイの先生方、子どもたちと関わったことは、とても楽しく忘れられない経験となりました。

日本の文化を体験して喜んでくださる姿が見られて、とても嬉しかったです。また、相手とコミュニケーションをとるのは、はじめは戸惑いでしたが、通じたときの喜びは大きく、こんな風にこれからももっと多くの人と関わる喜びを感じたいと思いました。

Action Plan

○子どもたちに向けて

<国際理解>

- ・自分がタイで見てきたこと・体験してきたことを子どもたちに共有する。
- ・道徳や社会・外国語など、関連する学習の中で積極的に紹介し、外国への関心を高めることができるようにする。

<キャリア教育>

- ・タイの職業教育の在り方を参考に、子どもたちの将来への選択肢を増やせるような活動を積極的に取り入れる。
- ・子どもたちの興味がどこにあるのかをよく観察し、自分の好きを見つける手助けを行っていく。

<日本文化の継承>

- ・自分の国の文化を紹介できる子どもたちを育てる。
- ・タイの教育、人々の生き方に触れ、自分たちの文化や受け継いできたものをとても大事にしている様子が印象的だった。今回、異文化を通してタイの素敵などところをたくさん教えていただいたが、同時に日本の良さや自分が大切にしていきたい思いにも気付くことができた。季節の行事や、日本で古くから大事にされてきた風習や人々の思いを、機会があるごとに伝え、まずは自国を大事にできる子どもたちを育成していきたい。異文化を体験してきた私だからこそ日本の良さを伝え、受け継いでいける架け橋になりたい。

○学校・教職員に向けて

<教職員との共有>

- ・自分の経験や学びを、同じ学校の教員に共有し、学びを広げる。

<地域との連携>

- ・タイの先生方のチームワークや、地域と協力・協働していく姿勢を見習い、地域とつなげながら活動を展開していく。
- ・学校外へも活動の様子を発信をしながら、協力を得られる関係を築き、地域と共に教育を作りたい。